

資料 1

● 第1号議案

大会計画骨子【暫定版】(案)

# 第43回 全国豊かな海づくり大会

～おんせん県おおいた大会～

大会計画骨子【暫定版】（案）

第43回全国豊かな海づくり大会  
大分県実行委員会

# 「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」大会計画骨子【暫定版】(案)の概要

※第1回実行委員会総会で決定した「基本構想」及び過去大会での事例等を参考に暫定的に作成するもの。骨子(成案)は、第3回実行委員会総会において決定予定。

## 1-1.基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかける。また、四季折々の味力(みりよく)あふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信する。

## 1-2.基本方針

①水産資源の保護と管理の一層の推進

②森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

③四季折々の多様な水産物の消費拡大

④おんせん県の新たな魅力を全国に発信

## 2.大会計画

- ・既存の施設の特徴を活かし、大会の基本方針に沿ったメッセージを効果的に発信できるよう内容を工夫する。
- ・式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置を活用し、映像中継を行う。
- ・各主要行事会場において、本県の特徴を活かした招待者への心のこもった“おもてなし”を行う。

- (1) 式典行事計画(会場：iichikoグランシアタ)
- ・厳粛で品位のある進行を基本として、豊かな海の重要性や本県での取組を全国に発信できる内容とする。



- (2) 海上歓迎・放流行事計画(会場：別府港第4埠頭)
- ・別府湾の雄大な景色や豊かな漁場をご覧いただき海上での漁船パレードや稚魚等の放流を通じてつくり育てる漁業の理解を深める場とするとともに、大分の海や水産物の魅力を全国に発信する。



- (3) 関連行事計画(県下複数箇所)
- ・大会を県全体で盛り上げるため、大会当日に市町村等と連携して県内複数箇所での水産関連イベントを実施する。

- (4) 映像中継計画(県下複数箇所)
- ・各関連行事会場において、式典等のライブ映像配信やリモート映像による別府港会場とのタイミングを合わせた同時放流などを検討する。

- (5) その他
- ・「絵画や習字の優秀作品御覧」や「歓迎レセプション」を実施

## 3.機運醸成計画

基本方針(4つの柱)を具現化する以下の取組を展開

### ①水産資源の保護と管理の一層の推進

- ▶小学生等に対する水産教室や漁業体験などの啓発機会の増大  
※大会期間中の啓発頻度を増やすと同時に、大会後も継続的に啓発できる仕組みを検討



- ▶県内各市町村でリレー放流(稚魚等の放流)を実施

### ②森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

- ▶水産関係団体だけでなく、森づくりなどの環境保全団体等と連携した取り組みを実施

### ③四季折々の多様な水産物の消費拡大

- ▶県産魚の消費拡大のためのPRに活用できる新たな「大会ロゴマーク」の制作  
※「おおいた県産魚の日(毎月第4金曜日)」の普及にも積極的に活用するなど、大会終了後も見据えた活用を検討
- ▶漁業者等と連携した「お魚捌き方教室」などの催行

### ④おんせん県の新たな魅力を全国に発信

- ▶宇宙港などの本県の新たな動きについても、上記①～③に合わせて、各種イベントなどでのPRを実施。

### ⑤上記①～④を包括的に啓発

- ▶1年前プレイベント  
日時：令和5年秋季 場所：別府港第4埠頭  
内容：海上歓迎・放流行事(R6のリハーサルをかねて実施)  
企画展示、ステージイベントなど



### ⑥その他、他団体等との連携

- ▶「協賛行事」の募集(県内の各種団体等と連携した取組)
- ▶作文、絵画、習字コンクールの実施(豊かな海づくり大会推進委員会との共催)



# 目次

## 1. 大会概要

1-1	全体概要	1
1-2	大会の基本構想	2

## 2. 大会計画

2-1	基本的考え方	5
2-2	全体計画	5
2-3	式典行事計画	7
2-4	海上歓迎・放流行事計画	10
2-5	御放流魚種・お手渡し魚種（検討中）	13
2-6	関連行事計画（検討中）	14
2-7	映像中継計画（検討中）	14
2-8	その他の行事	15
2-9	大会運営計画	16
2-10	荒天時計画	16

## 3. 機運醸成計画

3-1	基本的考え方	17
3-2	具体的な取組方針	17
	（1）水産資源の保護と管理の一層の推進に資する取組	
	（2）森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全に資する取組	
	（3）四季折々の多様な水産物の消費拡大に資する取組	
	（4）おんせん県の新たな魅力を全国に発信する取組	
	（5）上記（1）～（4）を包括的に啓発していく取組	
	（6）その他の取組	

## 4. 実施スケジュール

4-1	大会開催に関する全体スケジュール	20
-----	------------------	----

※全国豊かな海づくり大会は、これまで、天皇皇后両陛下の御臨席のもとに開催されていることから、本大会においても、天皇皇后両陛下の御臨席を想定し、計画を作成します。

# 1.大会概要

## 1-1 全体概要

- ◎大会名称 第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～
- ◎主催 豊かな海づくり大会推進委員会と大分県実行委員会の共催
- ◎開催時期 令和6年秋季
- ◎開催場所 「式典行事」 iichikoグランシアタ(大分市)  
「海上歓迎・放流行事」 別府港第4埠頭(別府市)  
「関連行事」 県内複数個所(検討中)

### ◎行事内容(予定)

#### (1)式典行事

資源管理や漁場保全等に功績のあった団体の表彰、稚魚等のお手渡し、最優秀作文の発表、漁業者メッセージ、大会決議、大会旗引継など

#### (2)海上歓迎・放流行事

漁船による海上歓迎パレード、稚魚等の放流など

#### (3)歓迎レセプション

本県の農林水産物等を豊富に使用した“おもてなし”など

#### (4)その他

大会を記念した絵画・習字等のコンクールの入賞作品の展示、企画展示や物産品販売など

### ◎大会テーマ、コスチュームデザイン、ロゴマークデザイン(未定)

大会のPR及び機運醸成のため、大会テーマ、「めじろん」の大会専用コスチュームデザイン、及び大会ロゴマークデザインを公募・決定する。

#### ○大分県応援団”鳥”「めじろん」

めじろんは、平成16年に、第63回国民体育大会「チャレンジ！おおいと国体」、第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいと大会」のマスコットとして、大分県の県鳥である「メジロ」をモチーフにデザインされたキャラクターです。

大会終了後、大分県応援団”鳥”に就任し、県行政の広報・PR活動に活躍しています。



(基本形)

# 1.大会概要

## 1-2 大会の基本構想

### 1 大分県の水産業

大分県は、九州の北東部に位置し、豊予海峡を境として北は瀬戸内海、南は豊後水道に面し、九州本土最高峰の中岳を含むくじゅう連山や、県内全域で温泉が満喫できる、源泉数・湧出量ともに日本一の「おんせん県」であるなど、豊かな自然環境に恵まれています。

瀬戸内海沿岸は、広大な干潟を有する豊前海や一級河川の大野川と大分川が流れ込む別府湾や豊後灘など多様な漁場で構成され、小型底びき網や刺し網、船びき網などを主体として、エビ類、マダイ、サワラ、シラスなどを水揚げしているほか、干潟域や内湾を利用したカキ養殖も盛んです。

一方、豊後水道は沿岸域がリアス海岸で形成される生産性の高い漁場となっており、まき網や定置網、一本釣りなどを主体として、アジやサバ、イワシをはじめとした多種多様な魚介類を水揚げしています。また、静穏域が多い海岸地形を利用して、生産量全国1位のヒラメ、2位のブリをはじめとして、クロマグロ、シマアジなどの魚類養殖業や貝類養殖業が盛んに行われています。

内水面では、九州で漁獲量1位のアユをはじめとした河川漁業のほか、ドジョウやスッポンなどの養殖業も営まれています。

全国の高級ブランド魚の先駆けである「関あじ関さば」をはじめ、「城下かれい」、「姫島車えび」、県の特産品であるカボスを餌に混ぜて育てた「かぼすブリ」、「かぼすヒラメ」などの魅力あるブランド水産物が多く存在し、複雑な海岸線により地域毎に多様な水産物が水揚げされています。

このような地域の特徴に根ざした多種多様な漁業は、四季折々の豊かな水産物を県内外に供給することはもちろん、水産加工品の原料や、観光資源としての利用など、本県の産業振興に重要な役割を果たしています。



(関あじ・関さば)



(かぼすブリ)

# 1.大会概要

## 1-2 大会の基本構想

### 2 開催意義

#### (1) つくり育てる漁業をさらに推進していく絶好の機会

「全国豊かな海づくり大会」の第1回大会は、昭和56年に皇太子同妃両殿下をお迎えし、全国に先駆けて、本県の鶴見町（現：佐伯市鶴見）松浦漁港で開催されました。

大会を契機として、漁業関係者が一丸となり栽培漁業の推進や小型魚の漁獲規制、県下一斉休漁日の設定、環境に配慮した養殖業の振興などの取組が積極的に行われてきました。また、これらは水産資源が生育する環境を保全するための藻場造成や海岸の清掃、森林から川や海へのつながりを意識した植樹活動などの取組とあわせ、40年以上が経過した現在も技術向上などにより発展的に継続され、水産資源の保護・管理と環境保全の大切さは多くの漁業者の意識に根付いてきています。

一方で、水産資源の減少は続いており、それに伴う担い手の減少や高齢化の進行、消費者の魚離れなど水産業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

本大会は、第1回目の開催県として、本県の漁業関係者のこれまでの努力とこれからの挑戦を県内外に広くアピールし、水産業についての理解と関心をさらに深めてもらうとともに、つくり育てる漁業の要である種苗生産施設（大分県漁業公社国東事業場）のリニューアルと相まって、さらなる取組を推進する絶好の機会となります。

#### (2) 環境保全の重要性を訴える貴重な機会

ふるさとの豊かな海を守っていくためには、栄養豊富な水を生み出す森林と、その水を海へ供給する河川的环境を保全していくことも重要です。

また、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックゴミや地球温暖化による海洋環境の変化などの新たな課題に対しては、漁業者だけでなく消費者も含めた国民全体で取り組むことが不可欠です。本県で2回目の開催となる本大会は、環境保全の重要性を広く訴えかけていくことのできる貴重な機会となります。

#### (3) 水産物の消費拡大と「おんせん県」の新たな魅力を発信できる機会

国内の水産物消費の減少が続く中、本県では消費拡大に向けて、お魚料理教室の開催や学校給食への利用促進、家庭で手軽に食べることができるレシピの開発などの魚食普及に取り組んでいます。大会は、これら魚食普及に一層取り組んでいく契機になるとともに、本県の豊かな海や川で育まれた多様な水産物の味力(みりよく)を県内外に広く発信する機会となります。

また、県内で展開されている新たな取組である、航空機を利用した人工衛星の打ち上げ等、アジア初の水平型宇宙港としても活用が期待される大分空港や日本唯一の海上交通であるホーバークラフトの復活などについても「おんせん県おいた」の新たな魅力として、令和6年春のデスティネーションキャンペーンとあわせ、全国に広く発信する機会となります。

# 1.大会概要

## 1-2 大会の基本構想

### 3 基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかけます。

また、四季折々の味力(みりよく)あふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信していきます。

### 4 基本方針

#### (1) 水産資源の保護と管理の一層の推進

水産資源の維持・増大を図り、「生産者の挑戦と努力が報われる漁業」の実現に向け、令和5年度にリニューアルする大分県漁業公社を核に、つくり育てる漁業をさらに推進するための大会とします。

#### (2) 森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

森から川へ、川から海へとつながる自然環境や藻場造成などによる良好な沿岸環境の保全とともに、近年、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックゴミや地球温暖化などの環境問題に取り組むことの重要性について県内外へ広く訴えかけることで、本県の豊かな海や川を次代に引き継いでいく大会とします。

#### (3) 四季折々の多様な水産物の消費拡大

「関あじ関さば」、「城下かれい」、「かぼすブリ」、「姫島車えび」などのブランド水産物をはじめ、本県の海や川で生まれた四季折々の多様な水産物の味力(みりよく)を県内外へ発信し、消費拡大を図る大会とします。

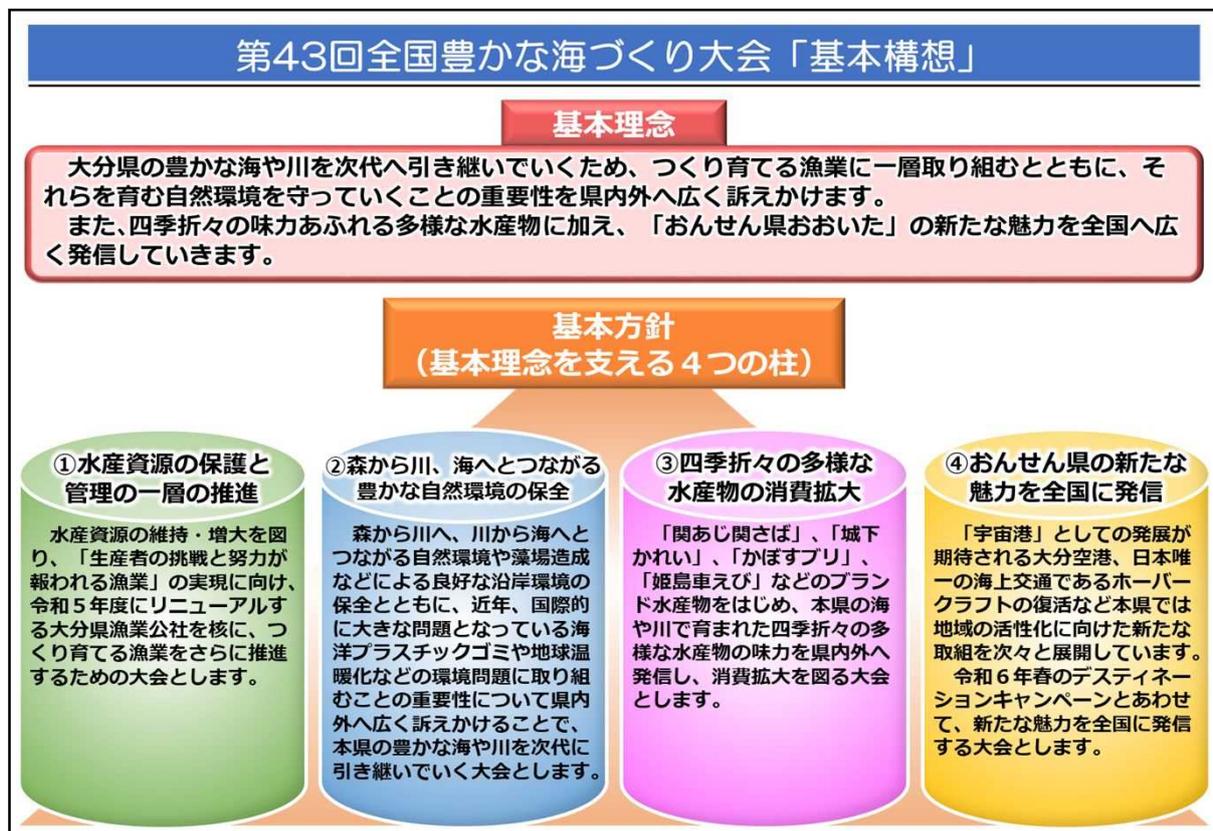
#### (4) おんせん県の新たな魅力を全国に発信

「宇宙港」としての発展が期待される大分空港、日本唯一の海上交通であるホーバークラフトの復活など本県では地域の活性化に向けた新たな取組を次々と展開しています。令和6年春のデスティネーションキャンペーンとあわせて、新たな魅力を全国に発信する大会とします。

## 2.大会計画

### 2-1 基本的考え方

大会の基本方針（4つの柱）に基づき、大会当日はもちろん、大会前の期間を含め、水産業関係者のみならず県民等の意識向上に資する取組を展開することで、大分県全体の水産業振興を図る。



### 2-2 全体計画

- ・既存の施設の特徴を活かし、大会の基本方針に沿ったメッセージを効果的に発信できるよう内容を工夫する。
- ・式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置を活用し、映像中継を行う。
- ・各主要行事会場において、本県の特徴を活かした招待者への心のこもった“おもてなし”を行うことで、参加者が、再び来県したいと思っただけのような工夫を凝らす。

## 2.大会計画

### 2-2 全体計画

#### 会場配置

別府湾岸のコンパクトなエリア内に「式典行事会場」と「海上歓迎・放流行事会場」の両会場を配置する。



#### タイムスケジュール

会場	式典行事	海上歓迎・放流行事	関連行事	作品御覧・ 歓迎レセプション
第一日目	9:00 総合リハーサル	総合リハーサル	水産関連の集客 イベント	
	17:00			絵画等優秀作品御覧 歓迎レセプション
第二日目	9:00 式典行事		水産関連の集客 イベント（式典 行事等の映像中 継他）	
	12:00	海上歓迎・ 放流行事		
	17:00			

## 2.大会計画

### 2-3 式典行事計画

厳粛で品位のある進行を基本として、豊かな海の重要性や本県での取組を全国に発信できる内容とする。

#### ●式典行事の主な流れ ※過去大会の例を基にしたイメージ

- ・ プロローグ（大会の幕開けを映像や音楽を主体として表現）
- ・ 主催者及び各省大臣等登壇
- ・ 両陛下御臨席
- ・ 大会旗入場
- ・ 陛下のおことば
- ・ 各種表彰
- ・ 稚魚等のお手渡し
- ・ （漁業者等からの）海づくりメッセージ
- ・ 大会決議
- ・ 両陛下御退席
- ・ エピローグ



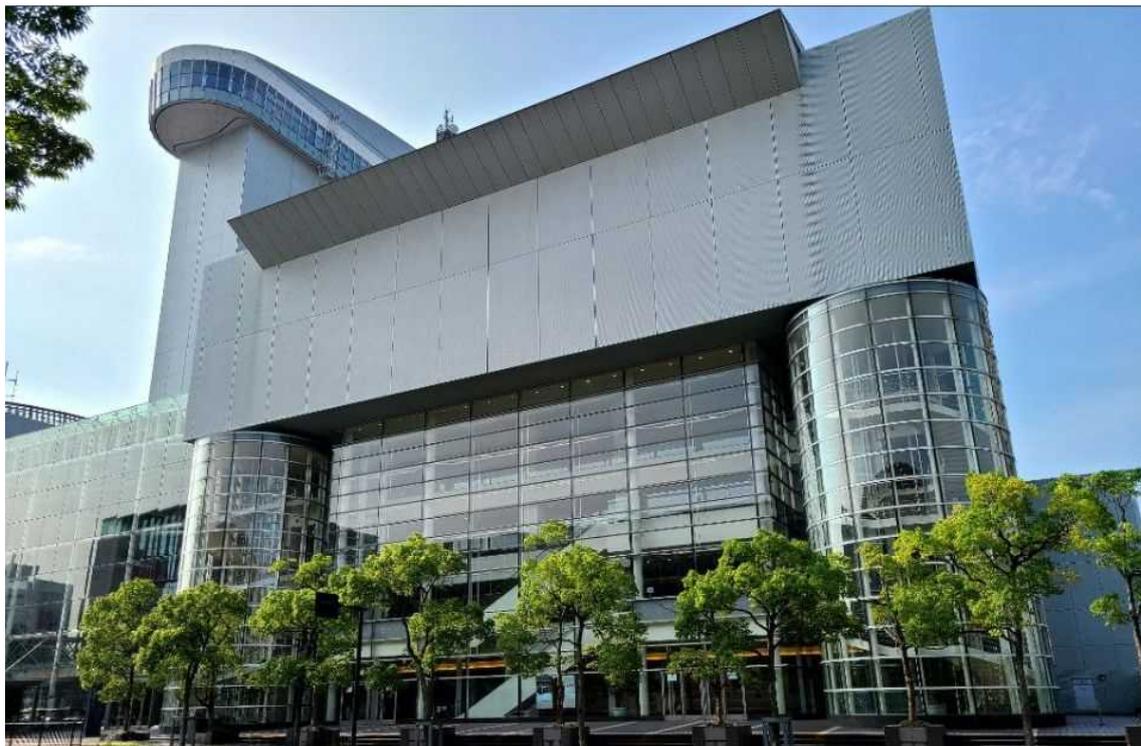
過去大会の様子

## 2.大会計画

### 2-3 式典行事計画

#### 会場の特徴

平成30年10月6日の第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会の式典会場として活用されたiichikoグランシアタは、最大1,966人の観客を収容できる規模と十分な広さの舞台ステージや複数の控室などを兼ね備えています。

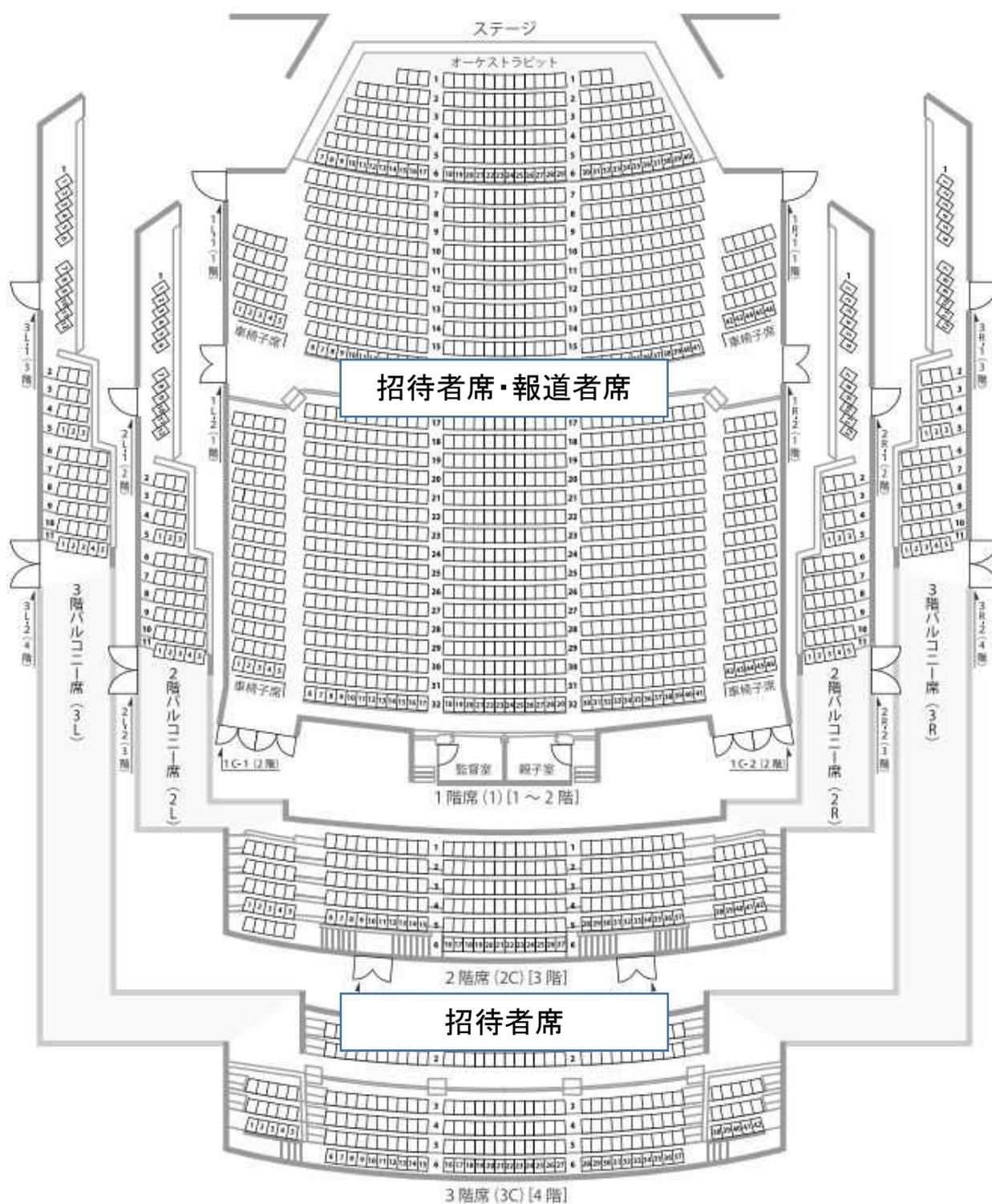


## 2.大会計画

### 2-3 式典行事計画

#### 会場配置イメージ(iichikoグランシアタ内)

※式典への参加者(招待者等)は、1000人程度を想定。



## 2.大会計画

### 2-4 海上歓迎・放流行事計画

別府湾の雄大な景色や豊かな漁場をご覧いただき、海上での漁船パレードや稚魚等の放流を通じてつくり育てる漁業の理解を深める場とするとともに、大分の海や水産業の魅力を全国に発信する。

#### ●海上歓迎・放流行事の主な流れ ※過去大会の例を基にしたイメージ

- ・ 式典映像放映
- ・ 歓迎演奏
- ・ 両陛下御着
- ・ 漁法紹介、海上での歓迎パレード（漁船複数隻、県調査船等）
- ・ 第1回稚魚の御放流
- ・ 第2回稚魚の御放流
- ・ 両陛下御発
- ・ 行事終了



過去大会の様子

## 2.大会計画

### 2-4 海上歓迎・放流行事計画

#### 会場のあるエリア(別府湾)の特徴

別府湾は、多様な漁船漁業(底びき網、船びき網、刺し網など)が営まれている豊かな漁場です。湾岸(大分、別府、杵築、日出)の漁業者による種苗放流も盛んに行われるなど、つくり育てる漁業に力を入れている海域でもあります。



#### 会場(別府港第4埠頭)の特徴

耐震強化岸壁や船舶が安全に航行できる水深と泊地の広さを兼ね備えているという点に加え、背後の広大な多目的広場を活用したおもてなし会場の設置が可能な点など、大会参加者を安心してお迎えすることのできる場所です。

さらに、別府湾の豊かな漁場と美しい自然の景色を一望することができ、背後には「日本一のおんせん県おおいた」を代表する観光地である別府市街地が広がっており、本県の魅力をアピールできる絶好の場所です。



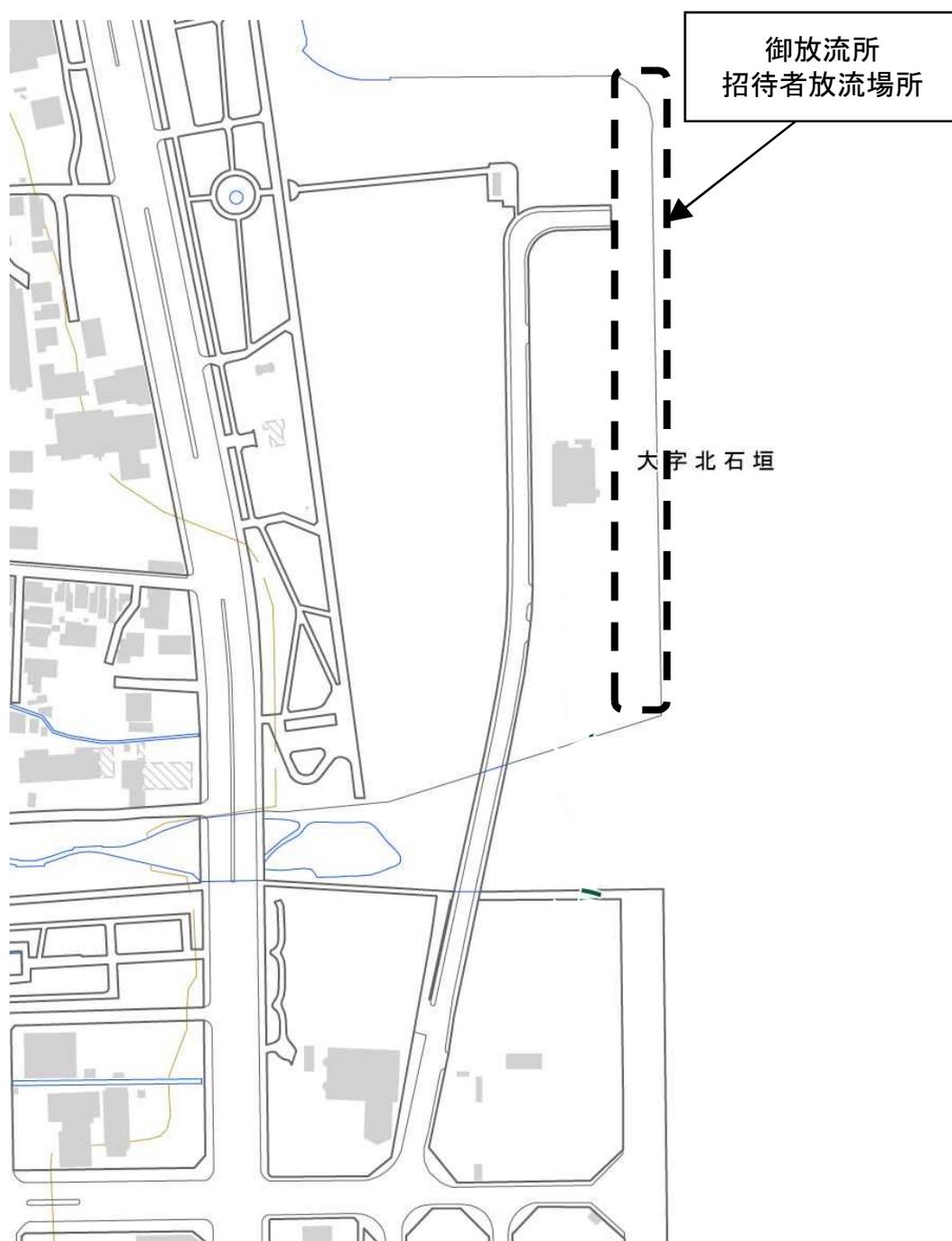
## 2.大会計画

### 2-4 海上歓迎・放流行事計画

#### 会場配置

※過去の大会を参考に、現地の状況等に応じて配置を決定する。

※海上歓迎・放流行事の参加者(招待者等)は、500人程度を想定。



国土地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp/#18/33.307440/131.503306/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>)を基に大分県作成

## 2.大会計画

### 2-5 御放流魚種・お手渡し魚種（検討中）

#### 魚種等選定の考え方

##### (1) 必須事項

- ① 本県の海面及び内水面に生息している在来種である
- ② 種苗の生産・放流技術が確立している、または種苗の確保が可能である
- ③ 大会の開催時期に適当な大きさの範囲である

##### (2) 勘案すべき事項

- ① 豊かな海づくりに対する意識の高揚に繋がる
- ② 本県の水産業振興に重要な魚種である
- ③ 大分らしい魚種である
- ④ 本県の水産業の発展を歴史的に担ってきた魚種である
- ⑤ 本県の栽培漁業対象種、または資源管理型漁業の対象種である
- ⑥ その他、大会の基本理念及び基本方針に照らし適当である

##### (3) 御放流・お手渡し魚の種類数

先催県の状況を参考に種類数を以下のとおりとする。

- ① 御放流魚：2～3種類
- ② お手渡し魚：2～4種類

#### < 参 考 >

本県の種苗生産対象種一覧

魚種名	写真	R2放流数	R2漁獲量	特徴
マコガレイ		217千尾	104t ※かれい類の値	瀬戸内海を主体に漁獲される。別府湾では中間育成を行い放流を実施。「城下かれい」は本種のこと。
マダイ		132千尾	408t	県内全域に分布し、様々な漁法で漁獲される。遊漁の漁獲対象としても人気。
ヒラメ		111千尾	58t	県内全域に分布し、底びき網漁業、刺網漁業等の様々な漁法で漁獲される。
イサキ		502千尾	103t	主に佐賀関以南で漁獲される。刺し網や一本釣り等の漁獲対象であり、遊漁の漁獲対象としても人気。
キジハタ		9千尾	統計無し	リニューアルする県漁業公社で生産が開始される予定。単価が高く、放流対象種として有望。
アユ		45,000千円 (放流金額)	54t	県内の多くの河川で盛んに放流されている。九州では大分県が最も漁獲量が多い。
クルマエビ		8,297千尾	22t	県内全域で放流を実施。底びき網・刺し網等で漁獲される。放流効果を高めるため、囲い網や被せ網を行っている。
ガザミ		631千尾	49t ※がざみ類の値	主に刺し網・かにカゴで漁獲される。香々地で「岬ガザミ」としてブランド化されている。
アワビ		321千個	14t ※あわび類の値	本県では、クロアワビとメガイアワビの2種を放流。放流効果が高く、単価も高いため、県内全域で放流が行われている。

## 2.大会計画

### 2-6 関連行事計画（検討中）

#### 会場配置

大会を県全体で盛り上げるため、大会当日に県内市町村等と連携して複数個所での水産関連イベントを実施する。イベントでは、大型モニターを活用した式典行事等の映像配信や海上歓迎・放流行事会場との同時放流を検討する。

※具体的には、関係する市町村等との協議を経て決定する。

### 2-7 映像中継計画（検討中）

#### 式典等のライブ映像配信イメージ



#### 別府港会場とのタイミングを合わせた別会場での同時放流のイメージ



## 2.大会計画

### 2-8 その他の行事

#### (1) 絵画・習字優秀作品御覧

全国豊かな海づくり大会を記念して、県内の児童・生徒を対象に絵画や習字のコンクールを実施し、優秀作品をご覧いただく。



過去大会の様子

#### (2) 歓迎レセプション

第1日目に、本県自慢の農林水産物を豊富に使用した歓迎レセプションを開催し、心のこもった“おもてなし”でお迎えます。



過去大会の様子

## 2.大会計画

### 2-9 大会運営計画

#### 基本的考え方

- (1) イベントの企画・運営や参加者の輸送等について、専門の事業者を積極的に活用する。
- (2) 実行委員会に所属する組織だけでなく、様々な主体と連携して大会運営を行う。
- (3) 障がい者、高齢者等へ配慮した運営を行う。
- (4) イベント等の開催にあたっては、環境への負荷を可能な限り低減できる手法を検討する。

#### 緊急時対応

- (1) 医療機関や警備等の関係機関との連携を密にし、事故防止や非常時の迅速な対応に努める。
- (2) 悪天候や地震などの災害への対応として、情報収集と避難誘導や大会行事の実施等の判断を迅速かつ的確に行える体制を整える。

### 2-10 荒天時計画

#### 荒天時等の対応

- (1) 台風による荒天時や地震、津波等の災害、火災、その他の突発的事案が発生した場合には、大会行事の開催可否を決定するため、判定会議を開催する。
- (2) 判定会議は、気象状況や災害、突発的事案の情報収集、整理を行い、専門家の意見を踏まえた上で、実施の可否を判断することとする。  
なお、大会行事の実施、変更、中止の判断基準は、大会計画で詳細を定める。
- (3) 判定会議において、荒天や災害、その他の突発的事案により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画(A)に変更し、行事を実施する。  
さらに、放流行事の実施も困難であると判断した場合には、荒天時計画(B)に変更し、式典行事を実施する。  
なお、台風や地震、津波等により、招待者や来場者の会場への移動に危険が伴うと判断した場合には、全ての行事を中止する。

行事名	荒天時計画(A)	荒天時計画(B)
式典行事	計画どおり実施	計画どおり実施
海上歓迎行事	中止	中止
放流行事	計画どおり実施	中止

## 3.機運醸成計画

### 3-1 基本的考え方

単なる「大会の周知」ではなく、大会の基本方針（4つの柱）をそれぞれ具現化した取組となるようにする。

### 3-2 具体的な取組方針

以下の取組に漁業者が積極的に参画することで、漁業者自身のやる気も喚起し、今後の水産振興につなげる

#### （1）水産資源の保護と管理の一層の推進に資する取組

- ▶小学生等に対する水産教室や漁業体験などの啓発機会の増大  
※大会期間中の啓発頻度を増やすと同時に、大会後も継続的に啓発できる仕組みを検討
- ▶県内各市町村で、リレー放流（稚魚等の放流）を実施

#### （2）森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全に資する取組

- ▶水産関係団体だけでなく、森づくりなどの環境保全団体等と連携した取り組みを実施

#### （3）四季折々の多様な水産物の消費拡大に資する取組

- ▶県産魚の消費拡大のためのPRに活用できる新たな「大会ロゴマーク」の制作  
※「おおいた県産魚の日（毎月第4金曜日）」の普及にも積極的に活用するなど、大会終了後も見据えた活用を検討
- ▶漁業者等と連携した「お魚捌き方教室」などの催行

#### （4）おんせん県の新たな魅力を全国に発信する取組

- ▶宇宙港などの本県の新たな動きについても、上記（1）～（3）に合わせて、各種イベントなどでのPRを実施。

### 3.機運醸成計画

#### 3-2 具体的な取組方針

##### (5) 上記(1)～(4)を包括的に啓発していく取組

###### ▶1年前プレイベント

令和6年に「海上歓迎・放流行事」の会場となる「別府港第4埠頭」において、大会本番に向けた課題と対策を検討するため、漁船等のパレード（漁法紹介）や放流行事を実施する。（得られた内容を大会計画にも反映させる。）

併せて、大会の機運醸成を図るため、招待者以外に多くの県民の来場を促す。

- ① 日 時 令和5年秋季
- ② 場 所 別府港第4埠頭
- ③ 内 容 (イメージ)
  - 1) 漁船等による海上パレード（漁法紹介）リハーサル
  - 2) 稚魚等の放流リハーサル
  - 3) 大会テーマ、めじろんコスチューム、大会ロゴマークのお披露目と制作者の表彰式
  - 4) スペシャルゲストによるトークショー
  - 5) 豊かな海づくりに関連する各種体験等ブースの設置
  - 6) 各種飲食物販売ブース（水産加工品など）



###### ▶海づくり大会PR隊

より多くの県民へ機運醸成を図るため、大分県農林水産祭をはじめとした県内各地でのイベントと連携し、企画展示やステージイベントなどを実施する。

## 3.機運醸成計画

### 3-2 具体的な取組方針

#### (6) その他の取組

- ▶大会協賛行事の募集（令和5年度～）  
団体などが主催するイベントのうち、本大会の基本方針に合致するものを大会協賛行事として募集することで、それら団体等と連携した取り組みを展開する。
- ▶コンクールの実施（豊かな海づくり大会推進委員会との共催）  
豊かな海づくり大会推進委員会との共催により、作文・絵画・習字のコンクールを行い、大会の開催意義を広く啓発する。
- ▶大会テーマ等を活用した各種PRグッズの製作・配布  
公募により制定した大会テーマ等を活用した各種PRグッズを製作し、様々な機会を通じて配布することで、大会の機運醸成に活用する。
- ▶ポスターやパンフレットなどの印刷物の制作・配布  
人々の目に留まりやすいデザインのポスターやパンフレットなどを制作し、手に取ってもらうことで、一人でも多くの方へ大会の趣旨を伝え機運醸成を図る。
- ▶多様なメディアを活用した情報発信  
報道機関への情報提供やインターネット等の多様なメディアの活用により、大会に関する情報だけでなく、本県の水産業に関する様々な情報を分かりやすく発信する。
- ▶屋外広告物等を活用した情報発信  
屋外広告物等を効果的に活用することで、本大会として伝えたいメッセージを積極的に発信する。
- ▶大会記念誌等の作成  
開催までの取り組みや大会当日の様様を記録し、大会記念誌等を制作する。

## 4.実施スケジュール

### 4-1 具体的な取組方針

年度	月	大会開催計画	機運醸成・広報計画	
令和4年度	12			
	1			
	2			
	3	実行委員会総会（大会計画骨子【暫定版】等）	大会テーマ等の 応募作品の審査	
5年度	4		機運醸成事業の実施（水産関連イベントでのPR・主催又は協賛行事等） リレー放流の実施	
	5			
	6	実行委員会総会（大会計画骨子等）		大会テーマ、ロゴマーク等の決定
	7			北海道大会でPR
	8			
	9			1年前プレイベント
	10	R6大会の開催期日決定（見込み）		
	11			
	12			
	1			
	2			大会公式ポスター作成
	3	実行委員会総会（大会計画等）		大会記念作品募集（作文・絵画・習字）
6年度	4		ホームページ・ポスター等によるPR	
	5	大会実施本部設置		
	6			
	7			
	8			
	9	1か月前総合リハーサル 前日総合リハーサル		
	10	第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～		
	11			
	12			
	1			
	2			
	3	実行委員会総会（解散総会）		大会実績報告書作成